

児童総会 ～つなぐ心～

「つなぐ・つながる・つなげる」をスローガンに掲げた30年度児童会。14日（木）の児童総会にて、今年度活動報告が承認され、そして5年生へのバトンタッチがされました。

議事では会員の皆さんによる活発な意見交換がされました。3年生から5年生の皆さんからは次々と挙手があり、意見や要望が出されました。前もって議案書をよく読み込んであることが感じられました。この総会を、そして今後の活動をより充実させるための発言が途切れませんでした。この総会を、そして今後の児童会活動を盛り上げていこうという子どもたちの意欲が高いことを感じました。

大勢の人の前で発言することは勇気がいるものです。意見を述べることは自分自身の取り組みを振り返ることにもなります。意見は立派でも、行動がともなっていなければ説得力がない、ということになりかねません。その意味でも充実した意見交換の場となりました。続いて現委員会三役さんから新三役さんへの引き継ぎのセレモニーが行われました。



3年生からも積極的な発言

これら5年生にとって、責任を感じたり人前が出る覚悟をしたりする大きな成長の機会となることでしょう。5年生の皆さんには、今の新鮮な気持ちや、やる気を持ち続けてもらいたいと思います。全校のみんなで応援していきます。

6年生には昨年度の同じ時期に児童会を引き継いでから今日まで、本当に著しい成長がありました。「立場が人を育てる」と言います。責任ある立場に立つこと、「自分に任された」という思いを感じる事が、子どもをどんなにか育ててくれるかを、まさに目の当たりにしてきた一年でした。そして総会を終えた6年生からは、大仕事をやり遂げたという満足感が感じられ、肩の荷を下ろしてほっとした感じも伝わってくる何とも言えないよい空気が流れました。6年生の皆さんのリーダーシップ、ありがとうございました。皆さんの気持ちは、5年生に確実に繋がったことを感じています。



6年生の的確な答弁

6年生提案のオリジナル献立

6年生の皆さんが、食育の授業で考えたオリジナル献立が3日間にわたり給食に提供されました。「カルシウムいっぱい」「鉄分いっぱい」、そして、12日には「風邪予防」献立をいただきました。NO.34のお便りでも紹介しましたが、今回は6年生オリジナルでもある「りんごのまぜっこサラダ」も実現して、メニューに加えていただけていました。



「りんごのまぜっこサラダ」味わってね

インフルエンザの大流行が世間を騒がしている今、ありがたいことに麻績小学校はウイルスの侵入から逃れています。これは今日までのオリジナル献



立からもらう元気もその理由の一つであると考えべきでしょう。

全校の皆さんに、自分たちの考えた献立を紹介する6年生の姿は、ちょっぴり誇らしげでした。このことは、生きてはたらく「食育」の取り組みとなりました。お力添えいただいた先生方や調理員の皆様にあらためて感謝いたします。

「ぼくたち、わたしたちも6年生になったらあんな学習ができるんだ」「給食献立づくりやってみたい」という下級生の願いもふくらめてくださっていること、これがまた素敵なことだと思います。

『卒業式の歌』1年生から5年生の音楽集会

卒業式の歌の練習が始まっています。間もなく在校生と卒業生が一堂に会して練習したり、呼びかけの練習をしたりという段階になってきました。

中島先生からは、「どんな気持ちを含めてこの曲を歌いますか」という問



いかけがあり、1年生から5年生までが、真剣に考えました。その後の子どもたちの歌声が、明らかに高まっていくのです。

その求めに応えられる麻績の子どもたちの素直さと力量が、これまたすごいなあと思いました。